

県政トピックス ③ カジノを含む統合型リゾート (IR) 誘致 愛知県が意見・事業案を募集

愛知県は、中部国際空港島を中心に国際観光都市の実現を目指しており、2018年10月に複合商業施設「フライトオブドリームズ」、昨年8月には愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」が開業、9月にはセントレア第2ターミナルが供用開始され、国際交流拠点としての整備が進められています。

そして昨年末12月19日に、知事がIR誘致の可能性を探る意見・事業案を公募すると発表しました。

中部国際空港周辺をスーパーシティ、スマートシティとする、日本の未来都市実現に向けた取り組みの重要性は理解しつつも、反面、いわゆるギャンブル依存症を誘発するなど、その歪みへの対応策が十分でなく、不安視する声も多くみられるのが現状です。

新政あいち県議団は、こうした状況の中、誘致ありきではなく、ギャンブル依存症対策を含め、想定される負の部分のケアについて十分な議論が尽くされていないという意味で、IR誘致には慎重な判断をすべきという考えです。

私も、県民全体の理解を得られる進め方をすべきであり、性急な進め方には警鐘をならしていきたいと考えています。



▲愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」



▲複合商業施設「フライトオブドリームズ」

2019年 地域活動 トピックス



県全域から海部津島地域に至る多様な広域防災訓練に参加。当然地元の自主防災訓練にも。左写真はその時の放水訓練の様子。



連合愛知とともに街頭行動。これからもしっかり連帯・連携していきます！



定例議会後、区内6駅11か所にて県政報告を実施しています！



長年お世話になった豊田合成労組の鈴木委員長（連合愛知尾張南地協代表）が退任。ただただ感謝。



日越友好議連の関係で、名古屋大学ベトナム人留学生リンさんのホームステイ先ホストファミリーとして受け入れました。

夏まつり・秋まつり・文化芸能祭など、地域の式典や各種イベントにたくさんお招きいただきました。いろいろな出会いに感謝です。



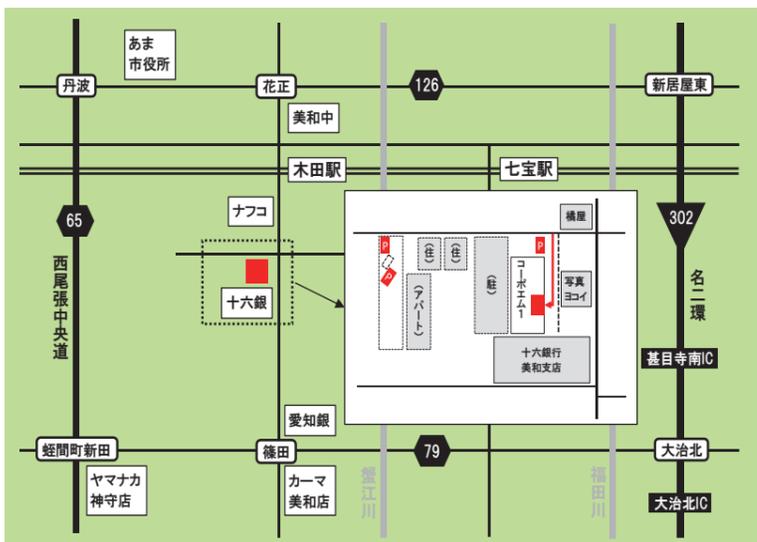
新たに事務所を開設いたしました。

2019年4月から議員活動をスタートさせ、早9か月。

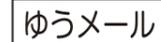
地域に末永く親しまれ、気軽に足を運んでいただけるような、開かれた賑わいのある事務所をみなさまとともに創っていきたく考えております。

私自身、議員生活はじめての年越しに合わせた事務所開設、心新たに、しっかりと地に足をつけながら議員活動に邁進していくことを改めてお誓いいたします！

- 所在地 〒490-1222 あま市木田八反田21 コーポエム1 1-C
TEL/FAX 052-718-7050
E-mail ogiso\_f@yahoo.co.jp
HP URL http://ogiso-web.com/ => 日々の活動を随時アップしています！



料金後納



ゆうメール

差出人/返送先(差出發送代行) 6-18
佐川グローバルロジスティクス(株)
〒485-0075
小牧市三ツ淵惣作1350

発行 県議会議員 (あま市・海部郡選出)

おぎそ史人 事務所

〒490-1222
あま市木田八反田21 コーポエム1・1-C
Tel/Fax 052-718-7050
E-mail: ogiso\_f@yahoo.co.jp
HP URL: http://ogiso-web.com/



新政あいち

県議団 県政レポート

2020年 新年号 Vol.3

県政アンケート用紙を同封してあります。ご意見をお寄せくださいませ。



- 1面/新年を迎えて 12月定例議会 概要報告
2面/新政あいち県議団 代表質問
3面/活動報告「SDGsモデル事業」「人間力を育てる 教育改革」 県政トピックス
4面/2019年 地域活動トピックス ★ 事務所開設のご案内

皆様には、令和という新時代2年目の新年を、清々しく心新たにお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年4月から議員活動をスタートさせ、早9か月余り、不慣れながらも、周りの皆様のお支えの下、何とか日々慌ただしくも愚直に活動させていただいている次第です。

年末12月定例議会では、本会議にて初めての一般質問に立つ機会を得ることができました。

テーマは3つ。(概要については、裏面をご覧ください。)

- ①「予期せぬ妊娠」相談事業
②未就学児童に対する自然環境教育の推進
③事業承継におけるマッチング支援

少しニッチな部分になりますが、当初からお訴えてきた「声なき声に耳を傾ける」「未来に向けた持続可能な社会を実現する」という部分においては、重要な視点であると考えています。

県当局の答弁としては、少し具体性に欠け、物足りない気もしますが、問題意識という「種」を撒くことはできたと思っています。

12/13,16に開かれた総務企画委員会では、

- ①行政データを保存したハードディスクの廃棄返却処理
②県庁内パワハラ防止等職場環境改善の取り組み
について質問をしました。

①は神奈川県で行政データの入ったハードディスクが、処理業者により転売、情報が流出した事件を受けて、愛知県での調査結果や情報流出防止の取り組みについて質しました。

12月定例議会 概要報告

令和元年度12月愛知県定例議会が12月3日から12月20日までの日程で開催されました。

今議会には、総額26億1,556万余円の増額補正予算案をはじめ31議案が上程され、可決成立させました。

また、議会冒頭では、本県の16年間続く交通死亡事故全国ワースト1という不名誉な状況を返すべく、交通死亡事故の根絶に向けて決議案を全会一致で決議しました。

◎無料定額宿泊所の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

いわゆる「貧困ビジネス」対策として悪質事業者を統制

▶12月定例議会 本会議 一般質問



県当局は、情報流出防止のため、情報セキュリティポリシーの見直しを視野にしっかり対応すると答弁しました。

②については、次期行革大綱の柱「人材力の強化」と「働き方改革」の土台となる職場環境改善の取り組みとして、県庁職員に対し、匿名の職場環境アンケートを実施し、まずは現状把握し、実態を知る取り組みを進めることを提案しました。

皆様の「声」は私の活動の大切な「種」です。質問したから終わりではなく、その「種」が芽を出し、実るよう、現地現物、しっかり調査を進め、ひとつひとつ解決に結びつける活動を着実に進めていきたいと考えています。

ぜひご意見ご要望をお寄せいただきますようよろしくお願いいたします。

補正予算合計：2,615,565千円 <以下、主要項目抜粋>

- 豚コレラ緊急対策費 258,760千円
8/31豊田市で確認された16例目に係る農家経営支援・防疫対策強化費用、飼育豚ワクチン接種費用
●あいちオレンジタウン構想 調査費 14,973千円
認知症予防や先進事例など次期アクションプラン策定のための調査費用や若年性認知症実態調査費用
●職員等の給与改定費 2,149,403千円
人事委員会の職員給与の改善に関する勧告に伴う費用

### 新政あいち県議団 代表質問から (12月5日 本会議 嶋口忠弘 政策調査会長)

#### 主な質問 ① 次代を担うロボット産業の振興について

**Q** 2020年開催予定の2つのロボット国際大会を通じ、本県のロボット産業の振興や世界への発信について、どのように取り組んでいくのか?

**知事** 大会において様々な最新ロボットやAIの展示・体験、デモンストレーションなどを展開する他、本県独自の取組として、会場となるAichi Sky Expoや中部国際空港を近未来技術のショーケースに見立て、会場案内や警備、移動支援などのサービスロボットが活躍する姿をご覧いただくことを計画している。

一方、ロボット国際大会は、本県の研究者や技術者が世界中の研究者らと交流、連携を図ることで、有益な技術的知見やロボット開発のヒントを得ることができる貴重な機会でもあり、本県が促進するロボットの研究開発や実証実験の取組を通じて、新たなイノベーションの創出へとつなげていきたいと考えている。

#### 主な質問 ③ 教員の多忙化解消と良好な教育環境の整備について

**Q** 児童生徒や教員にとって良好な教育環境の整備を図っていくため、勤務時間管理の徹底、外部人材の活用等による教員の業務の縮減、学校運営の効率化・最適化など、どのように取り組んでいくのか?

**教育長** 勤務時間外の在籍時間が80時間を超える教員の割合について、昨年度の目標に関しては、小学校では、53市町村中11市町村、中学校では12市町村、県立高等学校では150校中53校、特別支援学校では29校中22校が達成という状況で、今年度、全ての学校で0%にするという目標の達成は、厳しい。

こうした中、国は、来年度から勤務時間外の在籍時間の上限を月45時間とするガイドラインを法律上の指針として位置付けることとしており、その実現のため、教員が担う業務の明確化・適正化の取組を徹底するとともに、教員以外の専門スタッフの活用、外部への業務の移行をより一層進めていく必要がある。

来年度は、部活動指導員やスクール・サポート・スタッフなどの配置の拡充や、国の動きを踏まえた多忙化解消プランの見直しを検討していく。

#### 主な質問 ② 多文化共生社会づくりの推進について

**Q** 外国人県民が増加する中、地域で安心して暮らせるための災害対策や医療体制の充実に向けて、どのように取り組んでいくのか?

**知事** 災害対策については、「愛知県災害多言語支援センター」を開設し、毎年度の県・市町村総合防災訓練の中では、センターの設置運営訓練を実施している。

今年度からは、多文化防災に携わる関係機関で構成するネットワーク会議を開催し、情報共有や連携の強化を図っていく。

また、医療体制については「あいち医療通訳システム推進協議会」を設立し、通訳者の派遣や、電話通訳サービス、紹介状・診断書等の翻訳を行っている。

今後は、増加が予想されるアジア圏の言語を中心に、より多くの医療通訳者の養成にも取り組み、引き続き、災害対策や医療体制の充実を図り、外国人県民の皆様が、安心して働き、暮らすことができる多文化共生社会を実現していく。

#### 主な質問 ④ 児童虐待防止に関する取り組みについて

**Q** 児童虐待相談対応件数は、9年連続最多件数を更新している現状から、児童相談センターの体制強化にどのように取り組んでいくのか?

**知事** 児童相談センターの体制強化を喫緊の課題であると認識し、これまでも3年間で専門職員を48名増員している。

こうした中、本県では児童福祉司等を現在の207人から300人程度に増員する必要があるため、2020年4月採用の職員採用試験から、新たに「30歳から59歳まで」を対象に「特別募集」を行い、より経験豊富で専門性の高い人材を採用する予定。

今後とも専門職員の計画的な増員を進め、必要な人材の確保を図るとともに、本県独自の研修を実施し、経験年数の短い職員の専門性の強化を図っていく。

さらに、複雑化・困難化する事案に、対応できるよう、弁護士による相談体制の充実や、警察官OBの増員等を行っていく。こうした取組を通じ、質と量の両面から児童相談センターのさらなる体制強化を図り、未来を担う子どもの命を守ることを最優先に、児童虐待防止対策にしっかりと取り組んでいく。

### 一般質問要旨 「予期せぬ妊娠」相談事業が「命を守る砦」となるために…

「予期せぬ妊娠」をした特に中高生等若年者が、自宅出産や産科未受診の飛び込み出産となり母体胎児ともに命の危険にさらされる危険性が高いことや、出生した生後0日の胎児虐待死に繋がる可能性がある等の課題認識のもと、「予期せぬ妊娠」相談事業の体制整備について質しました。

県当局は相談窓口の一層の周知、メールを活用した相談手段の拡充を含め、産婦人科系医療機関等関係機関と連携し具体的な取組を検討していくと答弁。

もう一步踏み込んだ対応として「予期せぬ妊娠」に特化した「妊娠SOS相談窓口」を設置し、救われるべき命をいち早くピックアップする相談体制を整備するよう県当局に求めました。

その他、「もりの学舎」を中心とする未就学児童向けの自然体感型環境学習事業のさらなる拡充、後継者のいない中小企業や小規模事業者の事業承継問題につきマッチング支援（後継者人材バンクの設置等）の環境整備の積極的推進を県当局に求めました。

新政あいち県議団の質問録画は [愛知県議会](#) で [検索](#) ぜひ一度ご覧ください!

### 活動報告 ① SDGsモデル事業 (長崎県壱岐市)

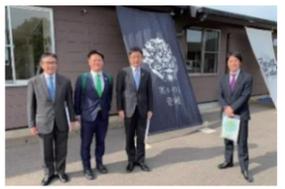
壱岐市は、愛知県と同じくSDGs未来都市に選定され、超スマート社会Society5.0という新たな時代を見据え、島内の大人から子供、島内外の企業、行政も巻き込んで、みんなで知恵を出し合いながら未来に向けた事業を現実に進めつつあります。

多様な働き方の一つ「テレワーク」と各種研修を壱岐市で実施してもらおうと、拠点として簡易滞在施設を整備。島外企業に積極的に利用してもらい、島内外の交流を広げ、市の活性化につなげようとする取り組みについて現地施設調査と意見交換を実施。

愛知県も、2027年リニア中央新幹線開業を控え、アクセスの利便性等強みを生かした取り組みを、SDGsの掛け声だけでない、具体的な形としてスピード感をもって進めていく必要があります。



▲壱岐市でのヒアリングの様子



▲テレワーク拠点の外観



▲テレワークセンター内の様子



▲利用者向け短期滞在施設

### 活動報告 ② 人間力を育てる「教育改革」 (広島県大崎上島町)

「学びの変革」アクションプランを掲げ、今年度モデル校として開校した広島県立叡智中高一貫校について学ぶため、広島県教育委員会及びその一貫校に出向き現地調査を実施しました。

これまでの詰め込み型のいわゆる良い高校良い大学への進学を目指す教育から、課題形成・解決型の社会で成果を発揮する人間力向上を目指す教育への変革。

限られた予算、教職員の育成(留学研修)、教育プログラムの開発・研修、そして何より広島県教育委員会の本気度を伝える関係機関への理解活動の説明には、教育にかける、子どもたちを育て導く熱意を感じました。

以前視察した大阪市立水都国際中・高等学校同様、全国各自治体が独自のグローバル人材育成を始めているのです。愛知県も遅れを取ってはなりません!



▲小学生の授業の様子  
この日は、外部講師を招いて「SDGs」をテーマにゲーム形式で学び、発表をしていました。

### 県政トピックス ① 「FIA世界ラリー選手権」の愛知・岐阜での開催決定!



開催概要	開催日時	2020年11月19日～11月22日(予定)
	開催エリア	愛知県内および岐阜県内の公道
	メイン会場	愛・地球博記念公園(通称モリコロパーク)

『FIA世界ラリー選手権(WRC)』が、本年11月に日本(愛知・岐阜)で開催決定!

過去には、2004～09年の中断を挟み2010年までの6回に渡り北海道で開催された事もありますが、本州では初開催。

なお、FIA世界ラリー選手権(WRC)とは、フォーミュラワン(F1)や、ル・マン24時間耐久レースを含む世界耐久選手権(WEC)などと並び、国際自動車連盟(FIA)が管理する4つの世界選手権のうちの一つ。1973年以来毎年開催される歴史と伝統を誇る世界最高峰のラリー選手権であり、現在は地元企業であるトヨタ自動車も参戦中。ぜひ皆さんで大会を盛り上げましょう!

### 県政トピックス ② 「あいち技能五輪・アビリンピック2019」愛知県選手団が奮闘!

あいち技能五輪・アビリンピック2019が、11月15日～18日まで、愛知国際展示場を始め、県内4市9会場で開催、技能五輪に42職種1,239名、アビリンピックに23種目382名の選手が全国から参加し、白熱の競技が繰り広げられました。

愛知県選手団は、技能五輪で金賞12名を始め93名の入賞、アビリンピックは金賞4名を始め15名が入賞という成績を収めました。

この結果、愛知県選手団は、技能五輪全国大会で第43回大会から15年連続で最優秀技能選手団賞を獲得、

全国アビリンピックでも、昨年に引き続き、メダル獲得数全国1位という輝かしい成績を収めることができました。

また、愛知県選手団は、今回新たに創設された「女性の活躍賞」についても受賞しました。



▲15年連続で最優秀技能選手団賞を獲得した愛知県選手団



大会PRキャラクター「アイチータ」